



2018年度テーマ「人と人のつながり」

望星学塾上棟記念講座【第425回望星講座】

デジタル情報技術は、 いったい「何を」つなぐのか？

インターネットが日常生活に深く介入するようになって約20年。その後も休むことなく技術革新は継起し、我々の認識はそのスピードに置き去りにされたまま、「夢」と「不安」が交差した時空間に宙づりされている。人文知はこの状況をどうやって理解の対象に押し上げたらいいのだろうか。

本講座では、1980年代のSF文学の転機—「サイバー・パンク」を起点に、我々は情報技術<を/>のもとに>何を語ってきたかを考え、2010年代後半に起きている様々な現象（スマートフォン・SNSによるメディア統合と混乱/AIやVRの実用化/ビットコインなどによる金融革命など…）に対する「コミュニケーション学」の立場からの説明を試みる。

2018年6月9日(土)14:00～15:30

於：望星学塾1Fホール

会場整理費：500円(望星学塾会員無料)



講師：水島 久光

東海大学文化社会学部広報メディア学科教授

慶応義塾大学経済学部卒業。広告会社でマーケティング職、インターネット情報企業の立ち上げなどを経験し、2001年東京大学大学院学際情報学府に入学。修士学位取得後2003年より本学に勤務。「放送のデジタル化」問題を皮切りに、情報・メディア環境を人文科学の知見から読み解く分析研究・実践活動を幅広く行う。現在は特に、地域映像を中心とした「デジタル・アーカイブ」構築をめぐる諸問題や、情報技術の進展とメディア法制・産業構造・倫理の関係について積極的に発言。著書『テレビジョン・クライシス—視聴率・デジタル化・公共圏』（せりか書房、2008）、監訳書にD.ブーニュー著『コミュニケーション学講義—メディアロジーから情報社会へ』（西兼志訳、書籍工房早山、2010）、共編著に『手と足と眼と耳—地域と映像アーカイブをめぐる実践と研究』（共著者原田健一、学文社、2018）など多数。

【お申込・お問合せ】学校法人東海大学望星学塾 〒180-0013 東京都武蔵野市西久保1-17-1

TEL: 0422-51-0161 FAX: 0422-53-1025 E-mail: bosei@tokai.ac.jp

HP: <http://www.tokai.ac.jp/bosei/> FB: <https://www.facebook.com/bosei.matsumae/>

【後援】武蔵野市教育委員会、東海大学同窓会三多摩支部